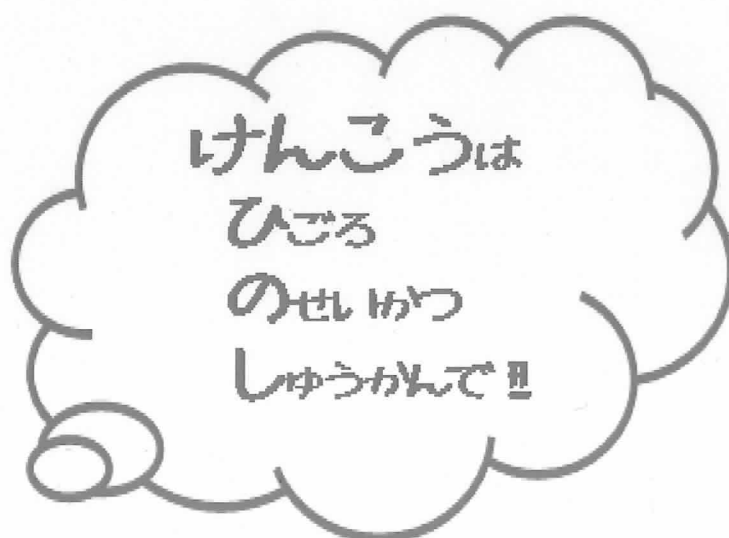


ひのびと
第2期「日野人げんき！」プラン

平成 25 年度進捗状況評価報告



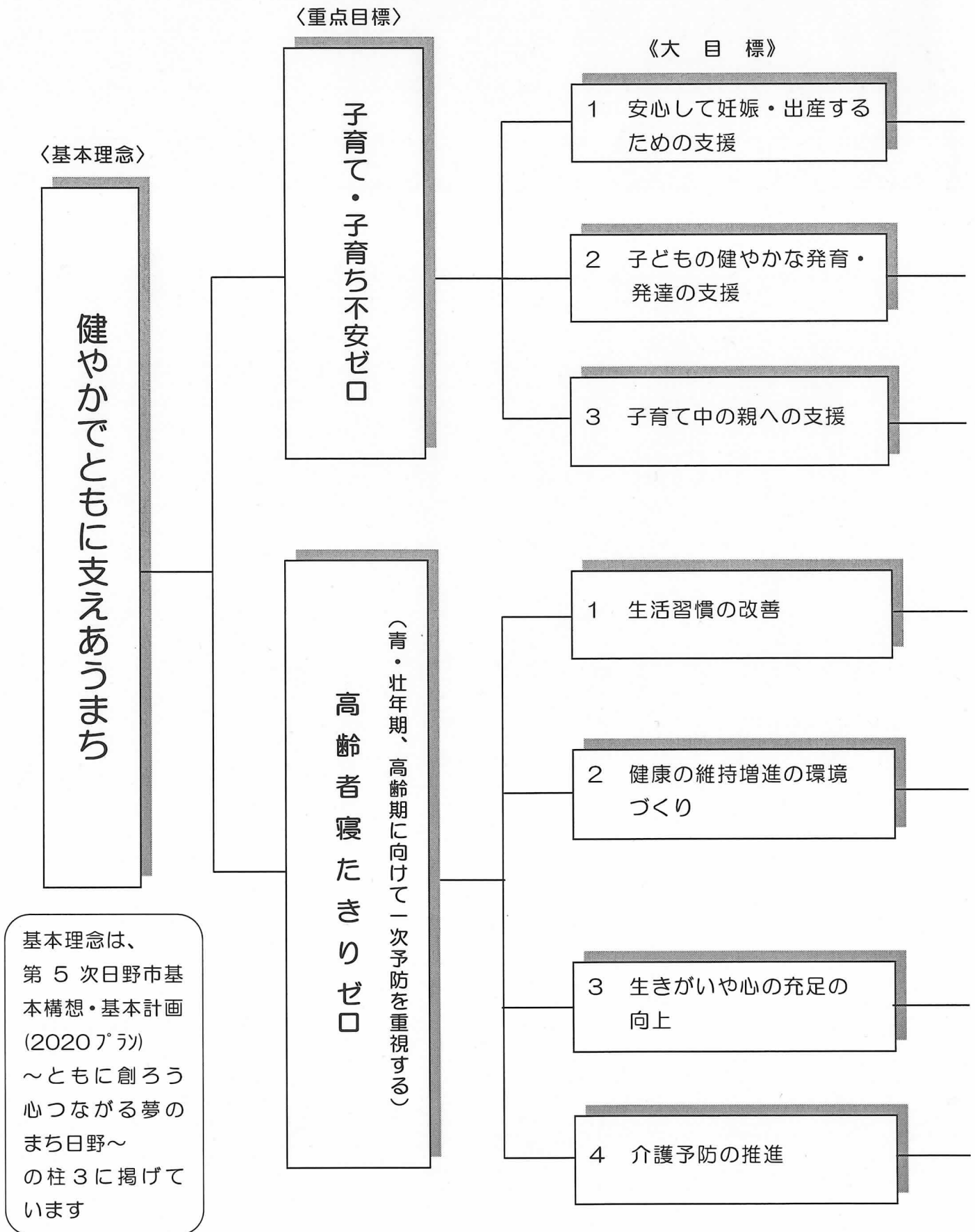
日野市健康福祉部健康課

目 次

施策の体系図.....	1
計画の進行管理について.....	3
重点施策の評価一覧表	5
重点施策1 妊娠・出産に対する支援を充実します	6
重点施策2 健康診査や予防接種及び相談体制を充実します	7
重点施策3 歯科保健を充実します	8
重点施策4 親自身の心の安定と健康づくりを進めます	9
重点施策5 運動などによる健康づくりを進めます	10
重点施策6 心の健康づくりを進めます	11
重点施策7 喫煙について正しい知識の普及・啓発に努めます	12
重点施策8 歯科保健対策を推進します	13
重点施策9 健康診査とフォローアップを充実します	14
重点以外の施策の評価	
重点目標 子育て・子育て不安ゼロ	
1－（2）夫婦の協力による子育ての意識づくりを進めます	17
2－（2）食環境を充実します	18
2－（4）子どもの豊かな遊びの環境づくりを進めます	19
2－（5）充実した医療環境を整備します	20
2－（6）学童・思春期における保健教育を充実します	21
3－（1）子育てに関する相談体制を充実します	22

3- (2) 子育てが楽しめる環境づくりを進めます	23
3- (4) 地域における子育て支援を充実します	24
重点目標 高齢者寝たきりゼロ	
1- (1) より良い食生活のための支援をします	25
2- (1) 女性の健康づくりを進めます	26
2- (3) かかりつけ医を普及します	27
2- (4) 健康づくりを啓発します	28
2- (5) 健康づくり推進員の養成と活動を推進します	29
2- (6) 地域医療体制を充実します	30
2- (7) 健康を支える都市環境を整備します	31
3- (1) 地域活動グループを支援します	33
3- (2) 生涯学習を推進します	34
3- (3) 社会活動への参加を促進します	35
4- (1) 生活支援サービスを推進します	36
4- (2) 介護予防を推進します	37
資料	38

【日野人げんき！プラン 施策の体系図】



【中 目 標】

- (1) 妊娠・出産に対する支援を充実します
 - (2) 夫婦の協力による子育ての意識づくりを進めます
- ＜重点施策 1＞

- (1) 健康診査や予防接種及び相談体制を充実します
 - (2) 食環境を充実します
 - (3) 歯科保健を充実します
 - (4) 子どもの豊かな遊びの環境づくりを進めます
 - (5) 充実した医療環境を整備します
 - (6) 学童・思春期における保健教育を充実します
- ＜重点施策 2＞
- ＜重点施策 3＞

- (1) 子育てに関する相談体制を充実します
 - (2) 子育てが楽しめる環境づくりを進めます
 - (3) 親自身の心の安定と健康づくりを進めます
 - (4) 地域における子育て支援を充実します
- ＜重点施策 4＞

- (1) より良い食生活のための支援をします
 - (2) 運動などによる健康づくりを進めます
 - (3) 心の健康づくりを進めます
 - (4) 喫煙について正しい知識の普及・啓発に努めます
 - (5) 歯科保健対策を推進します
- ＜重点施策 5＞
- ＜重点施策 6＞
- ＜重点施策 7＞
- ＜重点施策 8＞

- (1) 女性の健康づくりを進めます
 - (2) 健康診査とフォローアップを充実します
 - (3) かかりつけ医を普及します
 - (4) 健康づくりを啓発します
 - (5) 健康づくり推進員の養成と活動を推進します
 - (6) 地域医療体制を充実します
 - (7) 健康を支える都市環境を整備します
- ＜重点施策 9＞

- (1) 地域活動グループを支援します
- (2) 生涯学習を推進します
- (3) 社会活動への参加を促進します

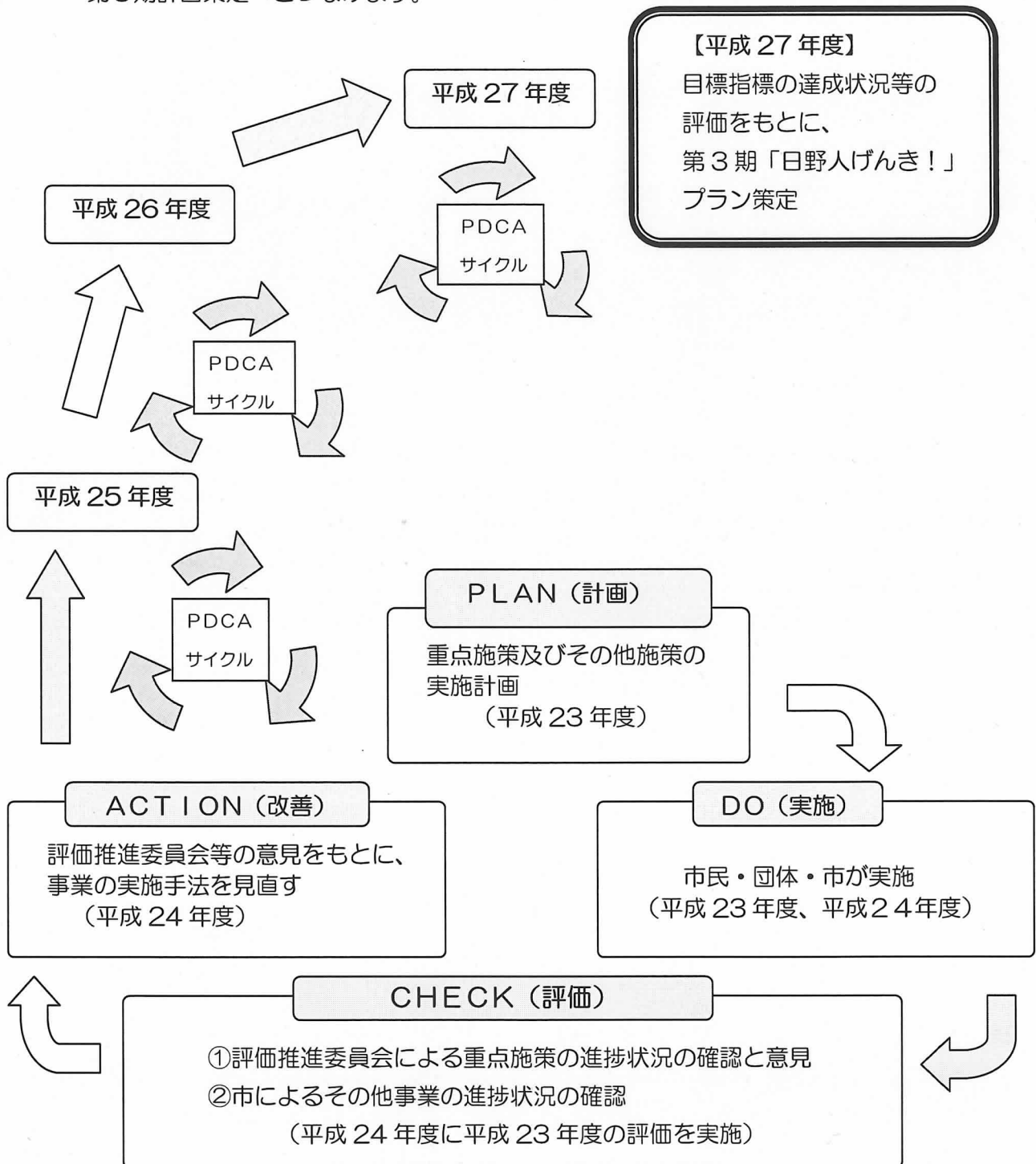
- (1) 生活支援サービスを推進します
- (2) 介護予防を推進します

第2期「日野人げんき！」プランの進行管理（評価）について

第2期「日野人げんき！」プランを確実に実施し、目標を達成していくために、毎年度、重点施策等に対する進行管理を行います。

第2期「日野人げんき！」プラン評価推進委員会（以下「評価推進委員会」という。）及び市により検証を行い、評価推進委員会等の意見や実施結果をもとに事業実施手法を見直します。

平成27年度には、目標指標の達成状況等の評価も行い、平成28年度からの第3期計画策定へとつなげます。



重点施策の評価

【日野人げんき！プラン 重点施策進捗状況評価結果一覧表】

中目標に対する評価点数 5…順調 4…おおむね順調 3…一部遅延 2…大幅遅延 1…未実施

重点目標	大目標	中目標	重点施策番号	主管課評価点数	庁内会議評価点数	評価推進委員会評価点数	評価推進委員会評価理由
子育て・子育て不安ゼロ	1 安心して妊娠・出産するための支援	(1) 妊娠・出産に対する支援を充実します	1	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届時の保健師による面接は初めての妊婦にとっては有効であるとともに、妊娠早期での支援は効果が大きいと評価できる。 ・ママパイクラスへの参加者が若干減少したが、事業全体として概ね順調と評価できる。ただし参加者を増やす工夫を望む。 ・産院連携の数値が顕著に向上していることを評価する。産院から行政の一方通行になりがちかと思うので、フォロー結果のフィードバックで双方向の関係を維持してほしい。
	2 子どもの健やかな発育・発達の支援	(2) 健康診査や予防接種及び相談体制を充実します	2	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・健診未受診者のフォロー率が向上していることは高く評価する。 ・発達支援室の相談体制も充実し関係機関との連絡体制も充実され今後期待。 ・予防接種通知の工夫等努力されている。今後の制度変化にもスムーズな対応をお願いしたい。
		(3) 歯科保健を充実します	3	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・健診でフォローした割合が67%（H24年度）から72%（H25年度）に増加している。 ・早期治療を促す取り組みで対象者18名の内5名が留守電で終了というのは残念。 ・おおむね順調と思うが、第3期「日野人げんき！」プランではハイリスク児の基準を検討する必要がある。むし歯が1本あってもフォローするべきではないか。 ・早期の治療につながるよう、健診後のフォローに更に力を入れてもらいたい。
3 子育て中の親への支援	(3) 親自身の心の安定と健康づくりを進めます	4	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児家庭全戸訪問実施率と乳児家庭把握率が年々増加している。引き続き育児不安解消のための親支援のさらなる充実を期待する。 ・産前、産後、育児期の各段階でのフォローを、「定点観測からの支援」ではなく、個々の児童の状況を時系列で把握していくことが必要。 	
高齢者寝たきりゼロ	1 生活習慣病の改善	(2) 運動などによる健康づくりを進めます	5	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・1回30分以上の運動を週2日以上割合、健康体操サポーターの人数ともに年々増加している。 ・おおむね順調だが落選者に対する対応、会場の改善が見られないのは残念。 ・市の戦略テーマ（ヘルスケア・ウェルネス戦略）を支える事業なので、主管課が課題としている、機会の提供、男性の参加などに工夫を期待する。
		(3) 心の健康づくりを進めます	6	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のゲートキーパーの養成数などの数値が前年度に比べて大幅に増加したことを評価する。 ・市民のゲートキーパーの認知度をあげるために、PRももっと必要かと思われる。 ・「日野人げんき！ゼミナール」以外の場での養成も検討してほしい。
		(4) 喫煙について正しい知識の普及・啓発に努めます	7	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳等交付時に禁煙指導はグッドタイミング。あらゆる機会に禁煙活動を行ってもらいたい。 ・特定健診受診者の喫煙率はほとんど変化はないが、様々な場面で普及啓発が行われており、活動内容には努力がみられ評価する。
		(5) 歯科保健対策を推進します	8	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周疾患検診の受診率が低下しているため、受診間隔の見直しや寝たきり等の市民に対しての訪問検診等、事業内容の抜本的な検討が必要ではないか。 ・周知への取り組みに努力はみられるが、口腔の健康に関する知識の普及、啓発の更なる必要性を感じる。 ・今年度実施予定の意識調査の分析による新たな取り組みに期待する。
	2 健康の維持増進の環境づくり	(2) 健康診査とフォローアップを充実します	9	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の受診率は平年並みだが、受診率向上を目指し、様々な工夫がされていることについては評価できる。 ・特定保健指導受診率の向上が見込めることを評価する。 ・医療費分析を上手に活用し、医療行政に生かしてほしい。
						<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の精密検診の呼びかけを手紙と電話で併せて行っていることは評価できる。 ・がん検診についてどの取り組みも工夫されており、更に受診率向上策への取り組みに期待したい。 ・今年度実施するがん対策に関する市民意識調査の結果分析による更なる施策展開に期待する。 	

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成25年度）
【重点施策】

重点目標	子育て・子育て不安ゼロ	重点施策	重点施策1					
大目標	1. 安心して妊娠・出産するための支援	担当課	健康課					
中目標	(1) 妊娠・出産に対する支援を充実します	健康指標 (数値目標)	平成21年度	目標値 平成27年度				
充実する 施策	事業名 P13	1. 妊娠届出時の妊婦相談	妊娠・出産に満足している人の割合	90%		95%		
	事業名 P13	2. 妊婦の教室（ママ・パパクラス）						
	事業名 P13	3. 感染症対策	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
	事業名 P13	4. 産院等の連携	数値なし	数値なし	数値なし			
事業名 番号	各事業の実施状況							
1	<ul style="list-style-type: none"> 健康課窓口での妊娠届出時（H25年度健康課窓口交付188人／全届出者1520人）には、相談当番保健師が面接し、妊娠や出産、これからの育児等の相談を受けている。 健康課窓口以外で妊娠届出を提出した妊婦に対しての支援は、全妊娠届出者に実施しているアンケートを活用し、不安感の強い妊婦や希望、必要に応じて、後日地区担当保健師より連絡を入れ支援を行っている。 窓口での相談のみでなく希望に応じて家庭訪問等もっており、妊娠期から産後と継続した支援にも力を入れている。保健師が相談を行っている。H25年度の妊婦面接相談70人、電話相談110人。（H24年は面接相談65人、電話相談124人） 							
2	<ul style="list-style-type: none"> ママパパクラスでは妊娠・出産・育児に関する情報提供を行っている。 ママパパクラスの基礎コースはグループワークを実施し、参加者同士の情報の交換の場とし、仲間作りを支援している。 沐浴コースは夫に向けて、妊娠・出産・育児において夫に出来ることや役割に関する話を行っている。 ママパパクラス参加者のアンケートからニーズ把握し、内容充実に取り組んだ。 基礎コース11回妊婦159人（174人）夫14人（21人）、栄養コース11回妊婦132人（133人）夫12人（8）、 歯科コース11回妊婦139人（164人）夫7人（13人）、沐浴コース12回229人（241人）夫等196人（215人）、 休日基礎コース2回妊婦44人（33人）夫等42人（28人）の参加を得た。（ ）内の数字は平成24年度実績。							
3	<ul style="list-style-type: none"> 『妊娠中に気をつけたい感染症』のチラシを母子手帳交付時に配布し、保健指導を行っている。妊娠中の感染症について健康課に相談できる体制をとっている。 健康教育の機会を活用して、感染症予防の啓発もあわせて行っている。感染症の流行情報についてはHPへ掲載し普及啓発している。 							
4	市内産院等と、「育児支援連絡票」により要支援者の連絡を取れる体制を整えている。また市外の病院等とも、電話連絡や連絡票により、連絡を取っている。H25年52件。（H24年18件）							

中目標に対する評価

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施	
平成25年度						
主管課	評価点数	評価理由				
	4	1.妊娠・出産を支援するうえで、妊娠届出時の面接は有効である。健康課窓口での保健師面接は全数実施した。H25年度は妊娠届時に記入する「心とからだのケア」から、支援が必要な妊婦の抽出を毎週実施した。抽出が早くなったことにより、早期介入が必要な妊婦に対して、早期支援が実施できるようになった。 2.参加者数はほぼ横ばい。参加しやすい休日のコースであれば夫の参加率も約9割と高い。アンケートからも参加者の満足度は高い。 3.健康教育等の機会を活用して、感染症の予防の啓発を行っていく。 4.市内産院との連携を密にし、要支援者への適切な支援を行えるようにしている。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
1.妊娠届時の保健師面接の実施率を上げるために、保健師が妊娠・出産・育児等の相談を行っていることをさらに周知する。 2.ママパパクラス参加者を増加させるための検討。 3.感染症の予防の啓発方法の検討。						
庁内評価会議	評価点数	評価理由				
	4	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠早期の面接、出産教育などの支援は心身ともに安心できる出産に繋がるため評価できる。 産院等との連携も連携件数増と効果が認められる。 今後、数値増減に関する理由を明確に提示出来るとよい。 				
評価推進委員会	評価点数	評価理由				
	4	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠届時の保健師による面接は初めての妊婦にとっては有効であるとともに、妊娠早期での支援は効果が大きいと評価できる。 ママパパクラスへの参加者が若干減少したが、事業全体として概ね順調と評価できる。ただし参加者を増やす工夫を望む。 産院連携の数値が顕著に向上していることを評価する。産院から行政の一方通行になりがちかと思うので、フォロー結果のフィードバックで双方向の関係を維持してほしい。 				

平成26年度事業計画

1.健康課窓口での妊娠届出時には、保健師が妊娠・出産・育児等の相談を行っていることをさらに周知していく。引き続き、支援が必要な妊婦の抽出を毎週実施し、早期介入が必要な妊婦の支援していく。 2.ママパパクラスの周知活動の媒体等の工夫を行っていく。アンケート内容を評価し、ママパパクラスの講義内容の充実を図っていく。 3.健康教育の機会等を活用して、さらに感染症の予防の啓発もあわせて行っていく。 4.引き続き産院との情報連携を緊密にかつ迅速に行っていく。					
---	--	--	--	--	--

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成25年度）
【重点施策】

重点目標	子育て・子育て不安ゼロ	重点施策	重点施策2				
大目標	2. 子どもの健やかな発育・発達の支援	担当課	健康課・発達支援課				
中目標	(1) 健康診査や予防接種及び相談体制を充実します	健康指標 (数値目標)	平成21年度	目標値	平成27年度		
充実する 施策	事業名 P16	5. 健診未受診者へのフォロー	健診未受診者のフォ ロー後の把握者数	67%	100%		
	事業名 P16	6. 乳幼児の発達支援					
	事業名 P16	7. 予防接種	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業名		83%	86.3%	90.7%		

事業名	各事業の実施状況						
5	3・4か月児、1.6歳児、3歳児の各健診における平成25年度の乳幼児健診未受診者129人であった。そのうち、電話や訪問等で把握できた人数は117人、割合は、90.7%となった。未受診者には、保育課との連携により、状況把握に努めた。						
6	<p>相談支援事業：臨床心理士等による専門相談を実施【H25専門相談延人数 1449人】(958人) 医師による医療相談を実施【H25相談延人数 115人】(140人)</p> <p>発達支援事業：各種トレーニング事業を実施 ■ペアレントトレーニング（保護者が参加）【実参加者 15人】(5人)</p> <p>地域支援事業：市民啓発のための講演会を実施【2回開催 参加者数 181人】(1回、116人)</p> <p>幼児グループ事業：親子で参加する発達支援のための親子グループ【H25参加実人数(子) 120人】(123人)</p> <p>巡回支援・相談事業：保育園・学童クラブへの心理士等による巡回支援・相談【実施施設数 保育園41、学童クラブ26 相談対象児188名 実施回数 保育園129回 学童クラブ 68回】(保育園129回、学童クラブ52回) ()内の数字は平成24年度実績。</p>						
7	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種の接種時期が近づいた対象者には、接種忘れのないよう、個別に勧奨通知を送付している。 新生児訪問等の家庭訪問等でパンフレットを使用し予防接種の説明を行っている。 <p>*接種率はBCG81.5%、四種混合1回目100.7%2回目104.7%3回目102.7%、二種混合63.3%、MR混合第1期95.7% 第2期90.0%、ヒブワクチン1回目108.1%2回目101.5%3回目106.1%追加102.4%、小児肺炎球菌1回目112.4%2回 目103.3%3回目104.8%追加87.5%</p>						

中目標に対する評価

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成25年度					
主管課	評価点数	評価理由			
	4	5.健診未受診の連絡が取れない家庭への支援としては、保育課・子ども家庭支援センター等関係課との連携により、状況把握に努めている。 6.発達支援室が開設して3年がたち、施設等が保護者に周知され相談者数が増加した。相談体制が充実し、関係機関との連携体制が構築されている。 7.①任意接種として接種費用を助成していた乳幼児対象の2ワクチン（ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン）について25年度より国が定期化を決定。混乱なく移行することができた。 ②25年度から個別通知の内容を工夫し、枚数を減らすことで通知内容が見やすくなりやすくなるように努めた。			
	27年度までの今後の課題				
庁内評価会議	評価点数	評価理由			
	4	5.引き続き、乳幼児健診未受診者の情報把握率100%を目指す。子ども家庭支援センターとの連携を強化し、フォロー体制を強化していく。 6. H26年4月よりエール（発達・教育支援センター）が開設した。引き続き切れ目のない支援ができる体制を構築していく。また、専門職による指導の体制の充実をはかるとともに、関係機関との連携に取り組む。 7.①予防接種の接種率向上の取り組みを引き続き行っていく。 ②保健師活動のなかで、感染症や予防接種の知識の普及が図れるように努めていく。			
評価推進委員会	評価点数	評価理由			
	4	<ul style="list-style-type: none"> 健診未受診者のフォロー率が向上していることは高く評価する。 発達支援室の相談体制も充実し関係機関との連絡体制も充実され今後に期待。 予防接種通知の工夫等努力されている。今後の制度変化にもスムーズな対応をお願いしたい。 			

平成26年度事業計画

5.平成25年度に子ども家庭支援センターと作成した、未受診フォロー体制の実施と評価を行っていく。
6.H26年4月よりエール（発達・教育支援センター）が開設した。引き続き切れ目のない支援ができる体制を構築していく。また、専門職による指導の体制の充実をはかる。
7.平成26年10月に予定されている水痘予防接種の定期化等新しいワクチンの動向に注意し速やかに正確な情報提供ができるように心がける。

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成25年度）
【重点施策】

重点目標		子育て・子育て不安ゼロ	重点施策		重点施策3		
大目標		2. 子どもの健やかな発育・発達の支援	担当課		健康課		
中目標		(3) 歯科保健を充実します	健康指標 (数値目標)		平成21年度	目標値 平成27年度	
充実する 施策	事業名 P19	8. 歯科健診でむし歯が多い(概ね5本以上) 子どもへの電話等フォロー	健診で虫歯が多かった子どもへの電話等フォローした割合		—	90%	
	事業名	9. 1歳6か月児歯科健診、3歳児歯科健診、経過観察歯科健診	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業名		68%	67%	72%		
	事業名						

事業番号	各事業の実施状況
8	<p>歯科健診の結果で、ハイリスク児（むし歯5本以上）に対し、歯科衛生士が電話連絡等で歯科治療したかどうかの確認及び相談・助言を行っている。25年度のハイリスク児は、1歳6か月児では0人、3歳児健診では23名であり減少している（前年度は1歳6か月健診は0名、3歳児健診は26名）。</p> <p>この内、既に歯科医療機関にて処置済みの者が5名おりフォロー対象外とした。不在のため留守電で終了したケースが5名、歯科衛生士・地区担当の保健師によるフォロー数が13名でありフォロー率が上がった（前年度は既に医療機関にて処置済みが14名おりフォロー対象からはずした。留守電での終了したケース5名、歯科衛生士・地区担当の保健師によるフォロー8名）。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年7月より継続して1歳6か月児健診、3歳児健診、経過観察歯科健診等でむし歯のあった児の保護者に対し、日野市歯科医会と検討した早期治療の大切さや歯科医院一覧を入れた受診勧告用紙を渡す取り組みを実施した。 乳幼児期にかかりつけ歯科医と相談しながら歯科治療や予防歯科を進めていく事が、生涯を通じての歯科疾患の予防や口の中の健康を維持していく事につながることを推進している。

中目標に対する評価

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施	
平成25年度						
主管課	評価点数	評価理由				
	4	<p>8、前年度と比較しハイリスク児が減少している。継続して歯科衛生士が把握・支援していく事により早期に受診及び治療に繋げる事ができた。</p> <p>9、むし歯があった全員の保護者に乳歯をしっかりと治療しておく事の大切さの説明や歯科医院一覧を手渡しする事により、早期の歯科受診を促す流れが出来ている。</p>				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
庁内評価会議	評価点数	評価理由				
	4	<p>8、地区担当保健師を通じてのケース以外は電話連絡で実施していたが、平日は連絡が付きにくい場合も増加しており、手紙等の別の方法を検討する。</p> <p>9、後日でのフォローは難しい場合も多いので、歯科健診時により細やかな充実した相談・指導が行える体制づくりを検討する。</p>				
評価推進委員会	評価点数	評価理由				
	4	<ul style="list-style-type: none"> 健診でフォローした割合が67%（H24年度）から72%（H25年度）に増加している。 早期治療を促す取り組みで対象者18名のうち5名が留守電で終了というのは残念。 おおむね順調と思うが、第3期「日野人げんき！」プランではハイリスク児の基準を検討する必要がある。むし歯が1本あってもフォローするべきではないか。 早期の治療につながるよう、健診後のフォローに更に力を入れてもらいたい。 				

平成26年度事業計画

- 8、周知方法の見直しをする。
9、歯科健診時のより充実した指導・助言ができる体制を整える。

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成25年度）
【重点施策】

重点目標	子育て・子育て不安ゼロ	重点施策		重点施策4		
大目標	3. 子育て中の親への支援	担当課		健康課・子ども家庭支援センター		
中目標	(3) 親自身の心の安定と健康づくりを進めます	健康指標 (数値目標)	平成21年度	目標値 平成27年度		
充実する 施策	事業名 P22	10. 育児不安解消のための親支援の充実	乳児家庭全戸訪問実施率	85%	100%	
	事業名	11. 子ども家庭支援センターの子育てひろばの充実	23年度	24年度	25年度	26年度 27年度
	事業名	12. 子育てひろば育児相談の充実	90.7%	86%	94.9%	
	事業名	13. 親の子育て力向上支援事業の充実	乳児家庭把握率		93%	100%
	事業名		23年度	24年度	25年度	26年度 27年度
	事業名		96.5%	91.5%	98.9%	

事業名番号 各事業の実施状況

10	<ul style="list-style-type: none"> 保健師もしくは助産師が、新生児期から3~4か月児健康診査までの乳児家庭を訪問し、妊産婦及び新生児の健康状態の確認、育児指導を行っている。 訪問時、うつ状態をチェックする「産後うつエジンバラ質問票」を用い、産後のメンタルヘルスの支援に重点を置き、育児不安の軽減を行っている。 <p>訪問対象者数：1,188人 訪問実施数：1,128人 電話等による家庭状況把握数：72人 訪問後母親の精神保健等のフォロー数：152人 乳児家庭全戸訪問実施率 94.9%、乳児家庭把握率 98.9%</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな環境の親子が気軽に立ち寄り、ゆったり過ごしながら相互に交流ができる場、必要に応じ相談もできる場として「子育てひろば」の充実を図った。 ミニ講座については、初めて子育てひろばを利用する親子に対して、更に気軽に参加できるようにし、内容の充実を図った。 ひろばでの仲間づくりを支援する活動の中で、アラフォーママのための講座から、参加者たちの力によって新しくサークルも立ち上がった。 市内で子育てをしている様々な自主活動（サークル等）の支援も行い、地域の子育て力の向上につなげていくことができた。
12	<ul style="list-style-type: none"> 子ども家庭支援センター本部のケースワーカーと地域のひろば相談員との情報連絡会を月1回実施し、相談体制の充実を図った。 子育てひろばの相談員では対応が困難な事例については、本部でこれを受理し対応するという相談支援体制を整えた。 相談員全体のレベルアップを図るため、研修会や交流の機会を持った。 また、子育て等の相談ができる場所は、保育園、児童館等市内に23か所あり、年間相談者数が7,000件を超えた。24年度の5,500件より増加しており、身近に気軽に育児相談等ができる場所として利用されている。
13	<ul style="list-style-type: none"> Nobody's Perfect講座について、全6回の講座で実施。参加型のプログラムで12名限定。参加者から、(子育てに対してのストレスもなくなり、今までの子育てのふり返りもでき良いきっかけになった。参加者・子ども・保育者それぞれが成長し、充実した時間が過ごせた。親自身の能力や長所への気づきができ、自己肯定感・自己表現力の向上が図れ、子育てに関する自信をつけることができた。)と感想あり。親の育児力の向上に効果がみられた。 ベビーマッサージ講座を実施し、親と子のふれあいにより、関わりと絆を深め親の子育て力の向上が図られた。参加者は毎回満員の人気講座となっている。 講座以外では、育児の方法等に不安を抱える家庭への育児技術訪問指導員、育児負担による養育不安を抱える家庭への育児家事支援員の派遣により、不安を払拭し、自信を持って子育てにあたるような支援策を行った。

中目標に対する評価

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
----	------	----------	--------	--------	-------

平成25年度

評価点数	評価理由
4	<p>10.平成25年度は、訪問勧奨通知の送付を中止したため、乳児家庭全戸訪問は24年度と比較すると対象者が減少（233人減）したが、乳児家庭全戸訪問実施率、乳児家庭把握率については上昇した。</p> <p>11.12.13 ・育児に取り組む親子を対象に、さまざまな取り組み（集いの場の提供、相談体制の充実、講座の開催、地域支援活動等）を実施し、概ね順調に取り組みができています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育てひろばや各家庭、相談窓口である関係機関など様々な場面で、支援を行うことにより、親自身の心の安定を図ることができ、親への支援につながった。

27年度までの今後の課題（箇条書き）

<p>10.乳児家庭全戸訪問は26年度より、出生連絡票（はがき）が届いていない家庭に対し、電話や訪問で状況把握していく。全戸訪問について、今後この取り組みの動向を見て検討していく。</p> <p>11.12.13 子育てひろばで気軽に相談できる体制づくり。子育てひろばの充実。子育てサークル支援の継続。各ひろばの相談員の相談対応力を強化。相談員のスキルアップ。</p> <p>ボランティアの登録及び活用。</p> <p>健康課、発達・教育支援センター等関係機関とのさらなる連携強化。</p>

評価点数	評価理由
4	<p>乳児家庭全戸訪問実施率、乳児家庭把握率が前年度より概ね順調に推移している。</p> <p>子育てひろばの育児相談は、身近な相談窓口として認知されている。</p> <p>産後ケアへの更にきめ細かい支援を期待する。</p>

評価点数	評価理由
4	<ul style="list-style-type: none"> 乳児家庭全戸訪問実施率と乳児家庭把握率が年々増加している。引き続き育児不安解消のための親支援のさらなる充実を期待する。 産前、産後、育児期の各段階でのフォローを、「定点観測からの支援」ではなく、個々の児童の状況を時系列で把握していくことが必要。

平成26年度事業計画

10.乳児家庭全戸訪問については、引き続き保健師・助産師による実施を試み今後の動向を見ていく。

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成25年度）
【重点施策】

重点目標	高齢者寝たきりゼロ	重点施策	重点施策5				
大目標	1. 生活習慣の改善	担当課	健康課				
中目標	(2) 運動などによる健康づくりを進めます	健康指標 (数値目標)	平成21年度	目標値 平成27年度			
充実する 施策	事業名 P27	1 4. 運動を始める人や運動を継続する人への支援	1回30分以上の軽く汗をかく運動週2日以上	40～74歳 46.5%	40～74歳 51.5%		
	事業名 P27	1 5. 健康体操サポーターの養成	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業名 P27	1 6. 運動事業の充実	調査なし	45.3%	47.2%		
	事業名		健康体操サポーターの 人数	平成21年度 31人	目標値 27年度 50人		
	事業名		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業名		31人	37人	39人		

事業名番号	各事業の実施状況
14	<ul style="list-style-type: none"> 「健康サポートルーム輝(かがやき)」の年間延べ利用者数は9,537人から10,520人と10%増となり、順調に利用者数を延ばしている。
15	<ul style="list-style-type: none"> 「健康体操サポーター」として39名が登録。引き続き実技・学科について養成講座を実施。 「楽・楽トレーニング体操」について、従来は委託で専門の講師が指導していたが、平成24年度から健康体操サポーターが講師として指導を行うようになった。市民である健康体操サポーターが講師を行う体制が継続するよう、サポーターのモチベーションを保つ養成講座や協働体制を実施。
16	<ul style="list-style-type: none"> 「さわやか健康体操」を平成24年度から介護予防事業と位置づけ、参加対象者の年齢を「60歳以上」から「65歳以上」に変更。 「さわやか健康体操」72教室・年36回開催。参加者数が2,176人（前年度2,239人） 「悠々元気体操教室」8教室・年36回開催。参加者数233人（前年度197人） 「楽・楽トレーニング体操」2会場年20回開催。参加者数313人（前年度356人）延べ参加者数4,173人（前年度4,078人） 「ミニ楽・楽トレーニング体操」1会場増設し、前期5～9月・後期11～3月・4会場各16回開催。参加者数268人（前年度205人）延べ参加者数1,497人（前年度1,193人）

中目標に対する評価

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成25年度					
主 管 課	評価点数	評価理由			
	4	多くの事業で参加者が増加しており、概ね順調に開催された。			
	27年度までの今後の課題（箇条書き）				
主 管 課	14	<ul style="list-style-type: none"> 開設時間の検討（夜間の開館、休館日である日曜日の活用） 運動習慣のない人にきっかけづくりの場というコンセプトを崩さない上で、機器等の充実 			
	15	<ul style="list-style-type: none"> 健康体操サポーターの高齢化 指導する機会の確保 			
主 管 課	16	<ul style="list-style-type: none"> 「さわやか健康体操」は、新町交流センター、多摩平交流センター、平山交流センター、落川交流センター、福祉支援センター、七生福祉センター、富士電機等一部の会場で参加希望者が多く抽選により落選者がいる。 また、新たな会場や指導員の確保が困難であり、全員がなかなか希望通りの場所に参加できない。 「悠々元気体操教室」同じ介護予防事業ではあるが、「さわやか健康体操」に比べて参加者が少ない。 「楽・楽トレーニング体操」「ミニ楽・楽トレーニング体操」では、若年層や男性の参加者が少ない。 			
	評価点数	評価理由			
庁内 評価 会議	4	身近な場所で、専門スタッフがついてのトレーニングや体操ができることは、ウェルネスの観点から非常に評価が高い事業であると思う。しかし、一部の会場で抽選による落選者が生じている。健康に対する意識の高い高齢者の意欲を無駄にすることがないように、会場の見直しを考えてもらいたい。また、更に新たな参加者を掘り起こすための工夫も求められる。			
評 価 推 進 委 員 会	評価点数	評価理由			
	4	<ul style="list-style-type: none"> 1回30分以上の運動を週2日以上割合、健康体操サポーターの人数ともに年々増加している。 おおむね順調だが落選者に対する対応、会場の改善が見られないのは残念。 市の戦略テーマ（ヘルスケア・ウェルネス戦略）を支える事業なので、主管課が課題としている、機会の提供、男性の参加などに工夫を期待する。 			

平成26年度事業計画

<ul style="list-style-type: none"> 健康体操サポーターについては、新たに6期生の募集を行う。 委託事業者との打ち合わせ及び各事業のアンケート集計による課題の整理 体操事業への途中参加希望者の受け入れ体制の整備を行う。
--

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成25年度）
【重点施策】

重点目標	高齢者寝たきりゼロ	重点施策		重点施策6		
大目標	1. 生活習慣の改善	担当課		健康課		
中目標	(3) 心の健康づくりを進めます	健康指標 (数値目標)		平成21年度	目標値 平成27年度	
充実する 施策	事業名 P31 17. 市民のゲートキーパーの養成	市民のゲートキーパー 養成数		—	1000人 (各年200人)	
	事業名 18. 保健師の健康相談					
	事業名					
	事業名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業名	181人	45人 (累計226人)	184人 (累計410人)		
	事業名					

事業 番号	各事業の実施状況
17	<ul style="list-style-type: none"> 市民のゲートキーパーとは、うつ病の基本的知識を有し、自殺や心身の不調のサインに気づき、早期に関係機関につなぐことのできる身近な人材のことであり、ゲートキーパーの養成は、保健師による自治会や市民グループへの健康教育「日野人げんき！ゼミナール」の中で実施している。 ゼミナールの実施回数は、H25年度25回、参加人数は1,126人（H24年度38回、参加人数は1,155人）。 ゼミナールでうつ病予防知識のみではなく、自殺や心身の不調のサインに気づき、早期に関係機関につなぐための研修が必要であり、H25年度はゲートキーパー養成の研修を取り入れたゼミナールを9回行い、認定証発行人数は184人。ほぼ今年度は目標値を達成している。 また、日野市の自殺対策については主にセーフティネットコールセンターが行い、職員向けのゲートキーパー研修や一般市民向けに自殺対策啓発講座を行っており、参加人数は80人である。 なお、日野市の自殺者数の推移は、H24年度35名、H25年度27名と減少がみられている。
18	<p>新生児訪問の実施時に「エジンバラ産後うつ病質問表」を取り入れ、産後うつ病の早期発見・早期支援に取り組んでいる。</p> <p>訪問対象者数1,188人、訪問実施数1,128人のうち母親の精神保健等によるフォロー訪問数：152人（13.5%）</p>

中目標に対する評価

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成25年度					
主管課	評価点数	評価理由			
	4	17. 市民のゲートキーパー養成については、おおむね目標値を達成している。 18. 産後うつ病の早期発見・早期支援は順調に取り組んでいる。			
	27年度までの今後の課題（箇条書き）				
17. H26年度も引き続き、「日野人げんき！ゼミナール」で市民のゲートキーパーを養成し、身近に相談できる人材を増やしていく。 18. H26年度も引き続き実施する。					
庁内 評価 会議	評価点数	評価理由			
	4	ゲートキーパー養成数などの数値からは、前年度に比べ大幅な改善がみられた。今後も市民の心の健康づくりに努めてほしい。			
評価 推進 委員会	評価点数	評価理由			
	4	<ul style="list-style-type: none"> 市民のゲートキーパーの養成数などの数値が前年度に比べて大幅に増加したことを評価する。 市民のゲートキーパーの認知度をあげるために、PRももっと必要かと思われる。 「日野人げんき！ゼミナール」以外の場での養成も検討してほしい。 			

平成26年度事業計画

17. 引き続き、「日野人げんき！ゼミナール」で実施していく。
18. 引き続き、新生児訪問等で実施していく。

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成25年度）
【重点施策】

重点目標	高齢者寝たきりゼロ	重点施策	重点施策7				
大目標	1. 生活習慣の改善	担当課	健康課				
中目標	(4) 喫煙について正しい知識の普及・啓発に努めます	健康指標 (数値目標)	平成21年度	目標値 平成27年度			
充実する 施策	事業名 P33	19. 喫煙・受動喫煙の健康への悪影響についての普及啓発	国保特定健診受診者の 喫煙者の割合	40～74歳 12.7%	40～74歳 8%		
	事業名 P34				20. 禁煙支援の充実		
	事業名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
	事業名	12.5%	12.3%	12.4%			
	事業名						

事業名 番号	各事業の実施状況
19	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時や新生児訪問時に喫煙が確認できた世帯に対して喫煙が健康に与える影響について説明した。 ママパピラス（沐浴コース）で禁煙や受動喫煙防止の普及啓発をした。 がん検診時に喫煙者の肺の模型を展示した。 健康課窓口にかんコーナーを設置し、常時喫煙者の模型や禁煙を促すパンフレットを設置した。
20	<ul style="list-style-type: none"> 胃・肺・大腸がん検診時に喫煙者の肺の模型の展示や禁煙外来の情報提供を行った。 特定保健指導対象者については、喫煙の健康影響について説明し、禁煙の動機付け、禁煙外来の情報提供をした。

中目標に対する評価

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施	
平成25年度						
主管課	評価点数	評価理由				
	4	19.母子保健活動やがん検診、ゼミナール（健康教育）を活用して、喫煙についての正しい理解の普及に努めた。また、健康課窓口にかんコーナーを新たに設置し、普及啓発を行った。 20.国保特定健診者における喫煙者の割合は12.3%から12.4%と横ばいで推移。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き）					
19.母子保健活動を活用した、禁煙や受動喫煙防止の普及啓発方法の検討。 20.禁煙支援の対象者を増加させるために、肺がん検診の受診率や特定保健指導の実施率を上昇させる。 20.喫煙者に対し、禁煙の具体的な方法の情報提供ができるよう、保健師の研修等について検討。						
庁内 評価 会議	評価点数	評価理由				
	4	がん検診時や母子健康手帳交付時の禁煙指導は、禁煙に意識を向けることに大きな効果がある。様々な機会に喫煙について正しい知識の普及・啓発を行えたことを評価したい。 喫煙率はなかなか低下しないが、今後もねばり強く禁煙についての啓発に努めてほしい。				
評価 推進 委員会	評価点数	評価理由				
	4	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳等交付時に禁煙指導はグッドタイミング。あらゆる機会に禁煙活動を行ってもらいたい。 特定健診受診者の喫煙率はほとんど変化はないが、様々な場面で普及啓発が行われており、活動内容には努力がみられ評価する。 				

平成26年度事業計画

19. 母子健康手帳交付時や新生児訪問、ママパピラス（沐浴コース）、ゼミナール等で禁煙や受動喫煙防止の普及啓発
20.禁煙支援の対象者を増加させるために、肺がん検診の受診率や特定保健指導の実施率を上昇させる。
20.喫煙者に対し、禁煙の具体的な方法の情報提供ができるよう、保健師の研修等について検討。

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成25年度）
【重点施策】

重点目標	高齢者寝たきりゼロ	重点施策	重点施策8				
大目標	1. 生活習慣の改善	担当課	健康課				
中目標	(5) 歯科保健対策を推進します	健康指標 (数値目標)	平成21年度	目標値			平成27年度
充実する 施策	事業名 P37	21. 歯周疾患検診	かかりつけ医をもつ市民の割合	—		60%	
	事業名 P37	22. 市民の歯と口腔の健康に関する学習の場と情報発信	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業名		調査なし	調査なし	調査なし		
	事業名		歯周疾患検診受診率	平成21年度	目標値		27年度
	事業名		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業名		8.4%	9.5%	8.8%		

事業番号	各事業の実施状況
21	お口の健康診査（歯周疾患検診）周知のため、ミニバスによる広告、モノレールの掲示板等周知方法を工夫した。受診者数が1,056名（内訳：30代179名、40代192名、50代171名、60代209名、70代305名）。前年度は40代8.3%、50代9.1%であったが、25年度は40代6.1%、50代7.7%であった。40・50代の受診率が減少したことにより、全体で0.7%減少した。毎年対象が変わるためばらつきが生まれたか、すでにかかりつけ歯科医があるため受診率が減少した可能性がある。
22	65歳を対象とした歯と栄養の介護予防教室を4回実施。計46名（60代21名、70代20名、80代5名）。前年度同様、炊飯器を使用した簡単料理のデモンストレーション、お口の健康体操（顔面体操・舌体操・唾液マッサージ）を実施。骨検診・肺炎球菌ワクチンの通知・健康フェア・健康体操・広報等による周知を行ったがいずれの回も集客に困難を極めた。

中目標に対する評価

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施	
平成25年度						
主管課	評価点数	評価理由				
	3	21.40・50代の受診率が下がった。より口腔の健康が全身の健康に関連していることを周知する必要がある。 22.参加者からはおおむね好評であった。今後は事業の内容を工夫し口腔機能向上について普及啓発を行う。周知方法について検討が必要。				
	27年度までの今後の課題（箇条書き） 21.受診率目標値12%を達成する方法の検討。30・40代の受診率向上。 22.口腔の健康に関する知識の普及啓発を図る。					
庁内評価会議	評価点数	評価理由				
	3	口腔の健康は、生活習慣病を始めとした病気との関係も深いようだ。非常に重要な事業であるが、健診の受診率が低下してしまった。周知の方法についてさらなる工夫を検討するとともに、歯周疾患検診の受診率が下がった理由を把握する方法を検討してもらいたい。				
評価推進委員会	評価点数	評価理由				
	3	<ul style="list-style-type: none"> 歯周疾患検診の受診率が低下しているため、受診間隔の見直しや寝たきり等の市民に対する訪問検診等、事業内容の抜本的な検討が必要ではないか。 周知への取り組みに努力はみられるが、口腔の健康に関する知識の普及、啓発の更なる必要性を感じる。 今年度実施予定の意識調査の分析による新たな取り組みに期待する。 				

平成26年度事業計画

21.40代に対し再勧奨通知を送付する。
22.高齢福祉課、地域包括支援センターと連携し事業の見直し検討、運動・栄養・歯科を含んだ健康増進事業の提供。

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成25年度）
【重点施策】

重点目標	高齢者寝たきりゼロ	重点施策	重点施策9				
大目標	2. 健康の維持増進の環境づくり	担 当 課	健康課・保険年金課				
中目標	(2) 健康診査とフォローアップを充実します	健康指標 (数値目標)	平成21年度	目標値			平成27年度
充実する 施策	事業名 P42	23. 健康診査の受診率向上	国保特定健診の受診率	47.9%	65%		
	事業名 P43	25. 特定保健指導の受診率向上	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業名 P43	27. 骨粗しょう症検診	48%	48.5%	48.8% (H26.7.29現在)		
	事業名 P43	28. 日野市国保医療費分析	国保特定保健指導の受診率	平成21年度	45%		
	事業名		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業名		8.5%	15.3%	11.5% (H26.7.29現在)		

事業番号	各事業の実施状況
23	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診受診率(法定報告) 平成21年度 47.6% 平成22年度 47.9% 平成23年度 48.2% 平成24年度 48.5% 平成25年度 48.8% (※ 平成25年度分の受診率の確定は平成26年11月頃の予定。) で受診率は横ばい傾向である。 40～64歳を対象に集団健診を実施し、前年度の1.41倍の641人が受診した。受診勧奨通知は前年度同様40歳～64歳の未受診者11,354人に発送した。
25	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度から業務委託で実施。(平成24年度 労働衛生協会、平成25年度 タニタ。) 初回面接実施人数は年度末時点で平成24年度 229人、平成25年度 235人。平成25年度分の実施率は未確定だが、翌年度の7月末締めで比較すると平成24年度8.7%、平成25年度11.5%。(※ 平成25年度分の実施率の確定は平成26年11月頃の予定。) 平成25年度も集団健診時に保健指導初回面接予約を実施した。平成25年度から新たに保健指導予約者に対し、セミナー(講習会)を実施した。
27	<p>広報5月15日号で募集し、また「40歳はじめてがん検診」に骨粗しょう症検診の案内を同封。 平成25年6月21日・22日で実施。受診者数：173名(募集100名)</p>
28	<p>重症化予防等事業の検討に向け、より精度の高い医療費分析のためのプロポーザルを実施。(保険年金課)</p>

中目標に対する評価

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成25年度					
主管課	評価点数	評価理由			
	4	<p>23. 特定健診の受診率は平年並み。特定健康診査の事業実施についてはおおむね順調に実施できている。</p> <p>25. 保健指導の利用者は昨年並み。実施率は未確定だが、現時点で昨年度より高いため増加することが推測できる。増加要因は前年度繰り越し分が今年度実績に上乘せになっているためと考える。事業実施についてはおおむね順調に実施できている。</p> <p>27. 「40歳はじめてがん検診」に案内を同封したことで定員を超える応募があった。「実施状況」の通りの日取り、受診者数をこなし、概ね順調に遂行した。</p> <p>28. プロポーザルを実施し、主傷病名以外の傷病名も考慮した精度の高いデータベースの構築、特定健診受診結果と突合せた医療費分析を委託できる業者を選定した。(保険年金課)</p> <p>27年度までの今後の課題 (簡条書き)</p> <p>23. 集団健診の受診日の増(平成25年度より3日間から6日間へ増)。未受診者の勧奨通知の発送時期、方法、回数等、最も有効なものを検討。健診データに基づく情報提供など、受診者自身の意識づけを促す工夫を研究する。</p> <p>25. 集団健診時に特定保健指導の初回面接予約を継続実施。受診勧奨値の人に対する受診勧奨の強化。民間の技術・知識を生かした初回面接予約方法を検討するなど、委託業者と市で協議しながら、実施率・終了率の更なる向上に努める。</p> <p>28. より精度の高い医療費分析により現状を把握し、事業を策定し実施する。(保険年金課)</p>			
	4	<p>27年度までの今後の課題 (簡条書き)</p> <p>23. 集団健診の受診日の増(平成25年度より3日間から6日間へ増)。未受診者の勧奨通知の発送時期、方法、回数等、最も有効なものを検討。健診データに基づく情報提供など、受診者自身の意識づけを促す工夫を研究する。</p> <p>25. 集団健診時に特定保健指導の初回面接予約を継続実施。受診勧奨値の人に対する受診勧奨の強化。民間の技術・知識を生かした初回面接予約方法を検討するなど、委託業者と市で協議しながら、実施率・終了率の更なる向上に努める。</p> <p>28. より精度の高い医療費分析により現状を把握し、事業を策定し実施する。(保険年金課)</p>			
庁内 評価会議	評価点数	評価理由			
	4	<p>国保特定健診の集団検診、骨粗しょう症検診の受診者が増加している点は評価できる。しかし、特定健診全体の受診率及びフォローアップのための特定保健指導の受診率が横ばいであることについては、新たな取り組みの検討を。医療費分析が実施されることで今後の重症化予防等の充実が期待できる。</p>			
評価 推進 委員会	評価点数	評価理由			
	4	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診の受診率は平年並みだが、受診率向上を目指し、様々な工夫がされていることについては評価できる。 特定保健指導受診率の向上が見込めることを評価する。 医療費分析を上手に活用し、医療行政に生かしてほしい。 			

平成26年度事業計画

23. 健診受診者の健康状況を分析し、受診勧奨や情報提供方法を検討する。
25. 講習会、セミナーの対象を拡大し実施。引き続き、集団健診時、特定保健指導の初回面接予約受付の実施。
28. より精度の高い医療費分析を実施し、事業計画を作成する。(保険年金課)

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成25年度）
【重点施策】

重点目標	高齢者寝たきりゼロ		重点施策			重点施策9	
大目標	2. 健康の維持増進の環境づくり		担 当 課			健康課	
中目標	(2) 健康診査とフォローアップを充実します						
事業名 P4.2	24. 各種がん検診の受診率向上						
事業名 P4.3	26. 各種がん検診で要精密検査となった市民の精密検査受診率の向上						
健康指標 (数値目標)			23年度 %	24年度 %	25年度 %	26年度 %	27年度 %
胃がん検診受診率	平成21年度 3.6%	目標値27年度 5%	3.2 (82.3)	4.6 (79.7)	3.7 (82.7)		
大腸がん検診受診率	平成21年度 36.4%	目標値27年度 42%	38.1 (42.6)	37.3 (40.4)	36.2		
肺がん検診受診率	平成21年度 1.4%	目標値27年度 3%	1.2 (77.3)	3.0 (84.8)	2.6		
子宮頸がん検診受診率	平成21年度 18.9%	目標値27年度 24%	19.9 (78.2)	19.0 (61.6)	17.3		
乳がん検診受診率	平成21年度 22.1%	目標値27年度 27%	19.1 (87.2)	19.9 (93.8)	18.9		

※カッコ内は、精密検査受診率。子宮頸がん精密検査及び乳がん精密検査は前年度の数値

事業名	各事業の実施状況	
24	<p>・胃がん・肺がん・大腸がん検診を集団で年3回実施。胃がん・肺がん・大腸がん検診を同日受診日に設定。40歳以上の市民を対象として実施。</p> <p>・子宮がん検診は、4月から2月の期間に20歳以上の女性市民のうち1/2の方を対象に個別検診で実施。</p> <p>・乳がん検診は、4月から2月の期間に40歳以上の女性市民のうち1/2の方を対象に個別検診及び無料クーポン券対象である40歳から5歳刻み60歳までの女性市民を対象に4日間の女性スタッフのみの集団検診を実施。</p> <p>・大腸がん検診は、日野市特定健康診査・いきいき健康診査と同時実施。</p> <p>・全てのがん検診において、当該年度40歳を迎える市民を「初めましてがん検診」として無料検診の対象とし、受診のきっかけ作りを図った。</p> <p>各がん検診の受診率は、一部検診で検診受診機会を増やし、受診者数増加を図ったが、平成24年度と比較して、胃がん0.9%減、大腸がん1.0%減、肺がん0.4%減、子宮頸がん1.7%減、乳がん1.0%減と受診率が減少傾向にある。</p> <p>受診勧奨として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮がん、乳がん、大腸がん検診無料クーポン券対象者それぞれ23, 563人に、クーポン券と検診のご案内を送付。 ・40歳と50歳の女性を対象に、がん検診の受診勧奨通知を送付。 ・乳がん検診無料クーポン券対象者のうち、年度中の未受診者に対して、集団検診への再受診勧奨はがきを送付。 	
26	精密検査の未受診者及び受診未把握者に対し、手紙と電話により受診勧奨を行った。	

中目標に対する評価

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成25年度					
主 管 課	評価点数	評価理由			
	3	<p>24.各がん検診の受診率は、減少しているものの、事業はほぼ順調に進んでいる。</p> <p>乳がん、子宮がん検診無料クーポン券に続き、大腸がん検診無料クーポン券の発送を開始した。</p> <p>集団形式のがん検診に保育士による保育を実施したことにより、子育て世代の受診環境を整えた。</p> <p>26.ほぼ順調にすすんでいる。引き続き、フォローアップ体制の充実を図る。</p>			
	27年度までの今後の課題 (箇条書き)				
24.効果的な受診勧奨通知の検討(年代、内容)					
26.精密検査未受診者に対するフォロー体制の確立					
26.未受診者抽出、受診勧奨までに時間がかかる。					
庁 内 評 価 会 議	評価点数	評価理由			
	3	無料クーポンの配布や検診時の保育実施等の工夫があったことから、事業としては順調に進んでいると評価できるが、受診率自体は低下しているため。			
評 価 推 進 委 員 会	評価点数	評価理由			
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・精密検診の呼びかけを手紙と電話で併せて行っていることは評価できる。 ・どの取り組みも工夫されており、更に受診率向上策への取り組みに期待したい。 ・今年度実施する市民意識調査の結果分析による更なる施策展開に期待する。 			

平成26年度事業計画

24.子宮がん、乳がん、大腸がん検診の検診無料クーポン券対象者へのクーポン券と検診のご案内を送付。
24.「初めましてがん検診」として、今年度40歳を迎える方に対して、受診勧奨通知の送付。
24.胃がん、肺がん、大腸がん集団検診、乳がん集団検診にて保育付きを実施
24.子宮頸がん、乳がん検診の受診勧奨を乳幼児健診で実施。
26.5大がん検診のフォローアップ体制の統一に向けて業務内容の整理
26.検診受診からフォローアップまで期間の短縮